

中国漢字を読み解く

～簡体字・ピンインもらくらく～

内容紹介

簡体字の誕生について歴史的かつ理論的に解説。三千数百字という日中で使われる漢字を整理し、体系的な分かりやすいリストを付す。

リストには表音表記（ピンイン）とその発音をカタカナで表記し、初学者から学習者まで幅広く対応可能。また、初学者でも検索しやすいよう、筆画および画数で検索が可能。さらに、簡体字成立の歴史、ピンインの発明とそのコンピューターでの利用、中国語学習健康法などを筆者独自の調査・体験からまとめる。初学者だけでなく、簡体字成立の歴史的背景を知りたい方にも最適。

三千数百字の現代中国の漢字、“簡体字”を分かりやすく整理したリスト。漢字簡素化の経緯、裏話も興味深い、便利な手引き。

中国語を習う学習者、中国旅行中に街の看板や交通表示を見て、見慣れない文字に戸惑う旅行者。新中国になって漢字簡素化のため導入された、常用の“簡体字”三千数百字を日本人に分かり易く分類。簡体字導入に至る賛否の論議、裏話にも詳しく触れた格好の手引き。

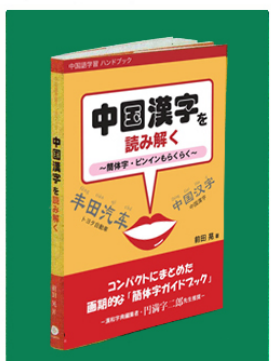
前田 晃 著

ISBN 978-4-86185-146-9



山口新聞 第22036号 (日刊)

元新聞記者の前田晃さん
中国の「簡体字」
読み解く本出版



現代中国で使われている漢字「簡体字」を日本の常用漢字と対比し、読み方と意味を紹介した「中国漢字を読み解く」(日本橋報社)が、6月7日発売。

著者は日中文化交流に長年携わってきた元日新聞記者、前田晃さん(80)福岡市在住。前田さんはこれまで「進化する漢字文化」新中国『文字改革』半世紀の歩み(日本橋報社)、「漢字でチャット」(おしゃべり)〜ケータイコミュニケーションの新展開(文芸社)の著作があり、本書は漢字文化研究の3作目。

山口新聞
6月7日
6月11日

「写真」が出版された。著者は日中文化交流に長年携わってきた元日新聞記者、前田晃さん(80)福岡市在住。前田さんはこれまで「進化する漢字文化」新中国『文字改革』半世紀の歩み(日本橋報社)、「漢字でチャット」(おしゃべり)〜ケータイコミュニケーションの新展開(文芸社)の著作があり、本書は漢字文化研究の3作目。

【著者略歴】前田 晃(まえだ あきら)
1932年11月 高松市で生まれる。1958年1月、朝日新聞社に入社。西部本社社会部で事件記者、石炭記者など取材活動。社会部・通信部次長、松山、山口支局長、西部本社企画部長、朝日カルチャーセンター・西部社長などで文化事業を担当。訪中20余回。石炭関係の共著のほか「進化する漢字文化〜新中国『文字改革』半世紀の歩み」、「漢字で“チャット”」(おしゃべり)〜ケータイコミュニケーションの新展開(文芸社、2005年刊)の著作があり、本書は漢字文化研究の第3作目。

ご注文は、日本橋報社 e-shop (中国研究書店)、アマゾンなどをご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。(トータル 日販 その他 取次コード: 5752)

 <p>おかげさまで20周年 since 1996</p>	<p>中国漢字を読み解く ISBN978-4-86185-146-9 発行日: 2013年5月17日 A5判 186頁並製 定価: 本体1800円 + 税</p>	<p>注文部数</p>	<p>ご注文 / 番線印</p>
	<p>日本橋報社 e-shop http://duan.jp</p> <p>送信 FAX 03-5956-2809</p>	<p>部 (送料無料)</p>	<p>ご注文の方は、 注文部数、住所 〒、氏名、電話番号をご記入ください</p>